

〔別紙第1号様式〕

輸入品が医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、毒物、劇物のいずれかに該当する区分を記入する。

※ () 輸入報告書

関東信越厚生局へ提出する年月日を記入する。郵送等により提出する場合は、送付日を記入する。

厚生労働大臣殿

輸入者（輸入品を使用する者）の氏名、住所を記入し、**個人印**を押印する。

平成 年 月 日

Invoiceに記載されている名称を記入し、書ききれない場合は、この欄に「別紙のとおり」と記入し、別紙を添付する。

輸入者（受取人）氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）
住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）

印

Invoiceに記載されている数量とその単位（個、kg、錠、ml、箱など）を記入する。単位がないと数量の意味が不明となるため輸入（通関）できない場合があります。

（貨物の送付先）の名称

記入は不要。

同所在地

担当者名は不要であるが、輸入者へ連絡できる電話番号及びEメールを記入する。

担当者名

Eメール

記入は不要。

品名	数量	業許可等の有無
		<input type="checkbox"/> ※ () 製造販売業 <input type="checkbox"/> ※ () 製造業 <input type="checkbox"/> 毒劇物輸入業
輸入の目的	①治験（企業）用、②臨床試験（医師）用、③試験研究・社内見本用、④社員訓練用、⑤展示用、⑥個人用、⑦医療従事者個人用、⑧再輸入品・返送品用、⑨自家消費、（ ） チェック項目を確認の上、□内にチェックする。	
誓約事項	<input type="checkbox"/> 上記輸入の目的のために使用するもので、他に販売、賃貸又は授与するものではありません。 <input type="checkbox"/> （個人用又は医療従事者個人用の場合）厚生労働省ホームページの「個人輸入において注意すべき医薬品等について」を輸入前に確認し、輸入後も随時確認します。 <input type="checkbox"/> （試験研究・社内見本用の場合）人又は人の診断の目的には使用しません。	
製造業者名及び国名		
輸入品の製造業者名及びその国名を記入する。		
輸入年月日	AWB、B/L等の番号	到着空港、到着港又は蔵置場所
備	・返送品用の場合）再輸	通知番号、便名等を記入する。
輸入品が日本に陸揚げされ、蔵置された年月日を記入する。郵便物の場合は、税関外郵出張所から送られてきた到着通知はがきの通知年月日、未到着の場合は到着予定日を記入する。		輸入品が保税蔵置されている場所の名称及び所在地を記入する。 （例：成田、東京税関東京外郵出張所等）
厚生労働省確認欄	下記の、所在地ごとの地方厚生局を記入 （関東信越厚生局、近畿厚生局、九州厚生局沖縄麻薬取締支所）	
厚生労働省〇〇〇厚生局 薬事監視専門官 毒物劇物監視員		

（注） 1. ※ () 欄には、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、毒物、劇物の別を記入すること。

2. この様式の大きさは日本

- ・この書類のみ、2通作成する。（1通は、輸入者に薬監証明として交付するためのもの。）
- ・捺印は不要。間違えて記入した場合は一線を引き、その上段に正しく記入する。
- ・修正液での訂正は不可。（この際の訂正印は、薬事監視専門官が押印するので不要。）
- ・別紙を添付する場合は、日本工業規格A4とする。

〔別紙第6号様式〕

1品目について、1枚作成する。

商 品 説 明 書
(個人・医療従事者用医薬品以外)

商 品 名	Invoiceに記載されている名称を記入する。
化学名、一般的名称又は本質	一般的名称等を記入する。
用 途 (効能・効果)	輸入品の具体的な使用目的及び効能・効果等を記入する。
規 格	輸入品の剤形等を記載する。(例:「300mg/カプセル、100カプセル/箱」、「100mg/タブレット、50mgタブレット/ボトル」)

- (注) 1. この用紙は承認等を受けていない医薬品等を試験研究・社内見本用、展示用、個人用(医薬品を除く。)、医療従事者個人用(医薬品を除く。)、自家消費等为目的で輸入する場合、及び毒劇物を試験研究・社内見本用、個人用、医療従事者個人用、自家消費等为目的で輸入する場合に提出すること。
2. この様式の大きさは日本工業規格A4とすること。

その他

- ・捨印は、不要。
- ・訂正箇所には、訂正印を押印する。
- ・修正液での訂正は不可。
- ・カタログ、パンフレット、写真等があれば添付する。
- ・別紙を添付する場合は、日本工業規格A4とすること。